

## 殺虫剤に係る排出量

本項目では表1に示す家庭用殺虫剤、防疫用殺虫剤、不快害虫用殺虫剤、シロアリ防除剤の4分類の殺虫剤に係る排出量の推計方法を示す。なお、以降 69 文字を超える物質名については略称等を用いている。

表1 推計対象とする薬剤の分類

薬剤種類	対象害虫	主な散布主体
家庭用殺虫剤	衛生害虫(蚊、ハエ、ゴキブリ、ノミ、ナンキンムシ、イエダニ、シラミ、屋内塵性ダニ類等薬事法で規定された虫)	家庭
防疫用殺虫剤		自治体、防除業者
不快害虫用殺虫剤	不快害虫(ハチ、ブユ、ユスリカ、ケムシ、ムカデ等)	家庭
シロアリ防除剤	シロアリ	防除業者、家庭

出典:家庭用殺虫剤概論(Ⅲ)(日本家庭用殺虫剤工業会、2006年11月)

## I 家庭用殺虫剤

## 1. 届出外排出量と考えられる排出

家庭用殺虫剤は主に一般家庭で蚊やハエ等の衛生害虫の駆除を目的として用いられており、使用量の全量が環境中へ排出されるものと考えられる。これらはすべて届出外排出量に該当する。

## 2. 推計を行う対象化学物質

日本家庭用殺虫剤工業会の出荷量調査等に基づき、表2に示す対象化学物質について推計を行った。

表 2 家庭用殺虫剤の全国出荷量(2024 年度)

管理番号	対象化学物質名	全国出荷量 (kg/年)
有効成分	64 エトフェンプロックス	1,148
	153 テトラメトリン	14,106
	181 ジクロロベンゼン	35,904
	252 フェンチオン	304
	350 ペルメトリン	5,969
	457 ジクロルボス	4,749
	722 クロルフェナピル	0.5
	745 ジノテフラン	0.5
補助剤	53 エチルベンゼン	1.3
	80 キシレン	1.3
	86 クレゾール	3,690
	207 2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	986
	410 ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)	564
	691 トリメチルベンゼン	0.1
	751 2-(2-メトキシエトキシ)エタノール	3.5
合計		67,426

出典: 日本家庭用殺虫剤工業会のアンケート調査等(環境省調べ; 2024年度実績)

注: ベイト剤(ゴキブリ用の毒餌等)に含まれるフィプロニル(管理番号: 22)とほう素化合物(405)は環境中への排出がごく微量と考えられるため、推計対象から除外した。

### 3. 推計方法

日本家庭用殺虫剤工業会の調査等により把握された家庭用殺虫剤としての全国出荷量等を用いた。推計の手順は図 1 に示すとおりである。推計対象年度の全国出荷量は全量が使用され、環境中へ排出されると仮定して全国の届出外排出量を算出した。また、家庭用殺虫剤の使用量は都道府県別の夏日日数及び世帯数に比例するとみなし、これらのデータを用いて都道府県ごとの排出量を推計した。

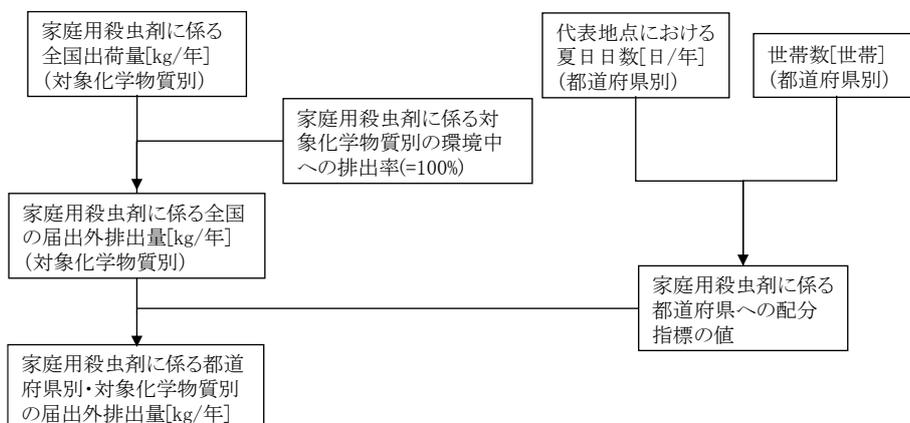


図 1 家庭用殺虫剤に係る排出量の推計フロー

#### 4. 推計結果

家庭用殺虫剤に係る排出量推計結果を表3に示す。家庭用殺虫剤に係る対象化学物質の排出量の合計は約67トンと推計された。ジクロロベンゼン(管理番号:181)やテトラメトリン(153)の使用量の増加により、2023年度(約55トン)と比較して約20%排出量が増加した。

表3 家庭用殺虫剤に係る排出量推計結果(2024年度:全国)

対象化学物質		全国の届出外排出量(kg/年)				
管理番号	物質名	対象業種	非対象業種	家庭	移動体	合計
53	エチルベンゼン			1.3		1.3
64	エトフェンプロックス			1,148		1,148
80	キシレン			1.3		1.3
86	クレゾール			3,690		3,690
153	テトラメトリン			14,106		14,106
181	ジクロロベンゼン			35,904		35,904
207	2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール			986		986
252	フェンチオン			304		304
350	ペルメトリン			5,969		5,969
410	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)			564		564
457	ジクロロボス			4,749		4,749
691	トリメチルベンゼン			0.1		0.1
722	クロルフェナピル			0.5		0.5
745	ジノテフラン			0.5		0.5
751	2-(2-メトキシエトキシ)エタノール			3.5		3.5
合計				67,426		67,426

## II 防疫用殺虫剤

### 1. 届出外排出量と考えられる排出

防疫用殺虫剤は自治体や防除業者が衛生害虫の駆除のために使用する殺虫剤であり、それぞれの使用場所で全量が環境中に排出されると考えられる。使用する主体が非対象業種であるため、すべて届出外排出量に該当する。

### 2. 推計を行う対象化学物質

日本防疫殺虫剤協会の調査等に基づき、表4に示す対象化学物質について推計を行った。

表4 防疫用殺虫剤の全国出荷量(2024年度)

管理番号	対象化学物質名	全国出荷量(kg/年)	
有効成分	22	フィプロニル	0.0
	64	エトフェンプロックス	742
	153	テトラメトリン	391
	225	トリクロロホン	5,700
	248	ダイアジノン	3.2
	251	フェニトロチオン	9,071
	252	フェンチオン	3,758
	350	ペルメトリン	2,710
	457	ジクロロボス	35,747
	745	ジノテフラン	1.0
補助剤	30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	334
	53	エチルベンゼン	5,207
	80	キシレン	9,397
	86	クレゾール	740
	300	トルエン	12
	405	ほう素化合物	37
	407	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	842
	408	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が8のものに限る。)	119
	410	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)	590
	567	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	12,504
581	アルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩(アルキル基の炭素数が12から16までのもの及びその混合物に限る。)	1.0	
691	トリメチルベンゼン	229	
合計		88,135	

出典: 日本防疫殺虫剤協会のアンケート調査等(環境省調べ; 2024年度実績)

### 3. 推計方法

日本防疫殺虫剤協会の調査等により把握された防疫用殺虫剤としての全国出荷量等を用いた。推計の手順は図 2 に示すとおりである。推計対象年度の全国出荷量は全量が使用され、環境中へ排出されると仮定して全国の届出外排出量を算出した。また、日本防疫殺虫剤協会によると、防疫用殺虫剤としての全国出荷量(表 4)は自治体で約 35%、防除業者で約 65%が使用されていることから、需要分野別に分けた全国の出荷量をさらに需要分野ごとの配分指標で都道府県別に配分した。

都道府県別の届出外排出量を算出するための配分指標は、自治体使用の場合は側溝への散布が主であることより「世帯数」及び「下水道普及率」をベースとし、防除業者使用の場合は「建築物ねずみ・こん虫等防除業登録営業所数」をベースとし、それぞれ夏日日数を乗じた値を配分指標とした。

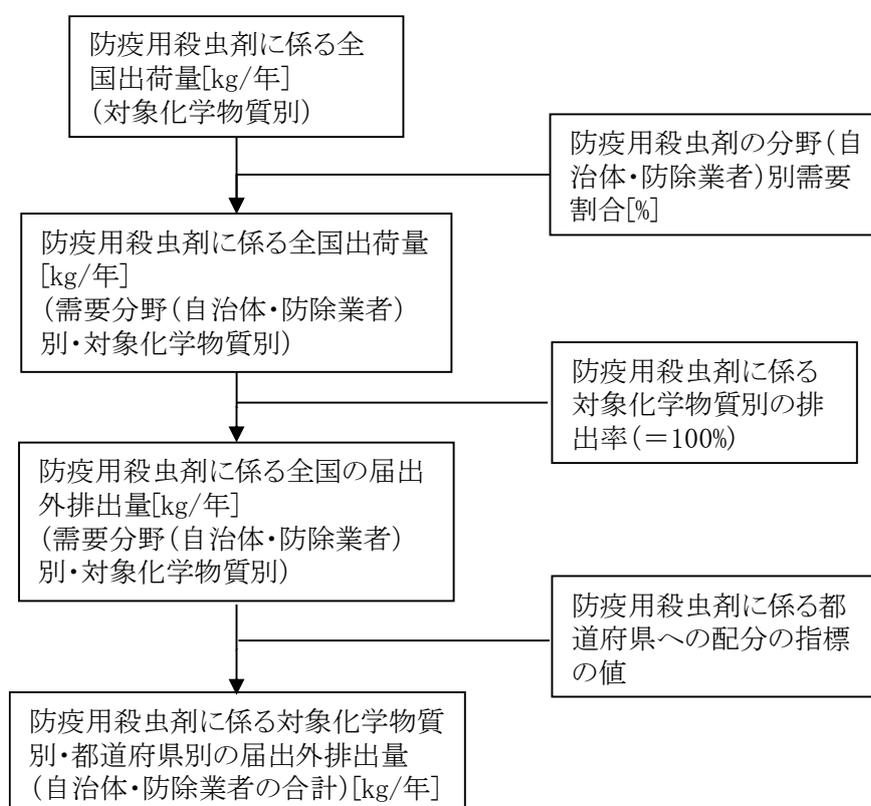


図 2 防疫用殺虫剤に係る排出量の推計フロー

### 4. 推計結果

防疫用殺虫剤に係る排出量推計結果を表 5 に示す。防疫用殺虫剤に係る対象化学物質の排出量の合計は約 88 トンと推計された。ジクロロベンゼン(181)の出荷量は減少したものの、ジクロロボス(457)の出荷量増加に加え、新たにアジピン酸ジ-2-エチルヘキシル(567)やトリクロルホン(225)の出荷量が報告されたことにより 2023 年度(約 59 トン)と比較し、排出量は約 50%増加した。

表5 防疫用殺虫剤に係る排出量推計結果(2024年度:全国)

対象化学物質		全国の届出外排出量(kg/年)				
管理番号	物質名	対象業種	非対象業種	家庭	移動体	合計
22	フィプロニル		0.0			0.0
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)		334			334
53	エチルベンゼン		5,207			5,207
64	エトフェンプロックス		742			742
80	キシレン		9,397			9,397
86	クレゾール		740			740
153	テトラメトリン		391			391
225	トリクロルホン		5,700			5,700
248	ダイアジノン		3.2			3.2
251	フェニトロチオン		9,071			9,071
252	フェンチオン		3,758			3,758
300	トルエン		12			12
350	ペルメトリン		2,710			2,710
405	ほう素化合物		37			37
407	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)		842			842
408	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が8のものに限る。)		119			119
410	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)		590			590
457	ジクロルボス		35,747			35,747
567	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル		12,504			12,504
581	アルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩(アルキル基の炭素数が12から16までのもの及びその混合物に限る。)		1.0			1.0
691	トリメチルベンゼン		229			229
745	ジノテフラン		1.0			1.0
合 計			88,135			88,135

### Ⅲ 不快害虫用殺虫剤

#### 1. 届出外排出量と考えられる排出

不快害虫用殺虫剤は主に一般家庭の衛生害虫以外の昆虫(ハチ、アリ等)を駆除する目的で使用されるものであり、使用量の全量が環境中へ排出されるものと考えられる。これらは、すべて届出外排出量に該当する。

#### 2. 推計を行う対象化学物質

生活害虫防除剤協議会の調査等に基づき、表 6 に示す対象化学物質について推計を行った。

表6 不快害虫用殺虫剤の全国出荷量(2024年度)

管理番号	対象化学物質名	全国出荷量 (kg/年)
22	フィプロニル	20
53	エチルベンゼン	4.6
64	エトフェンプロックス	1,498
80	キシレン	4.7
134	酢酸ビニル	1.9
153	テトラメリン	18,891
207	2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	495
251	フェニトロチオン	170
252	フェンチオン	304
275	ドデシル硫酸ナトリウム	23
300	トルエン	7.2
350	ペルメリン	3,977
405	ほう素化合物	2,583
407	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	161
410	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)	1,289
427	カルバリル	11,747
428	フェノブカルブ	7,409
583	安息香酸ベンジル	4.4
596	シラフルオフェン	356
615	チアメキサム	0.3
616	クロチアニジン	5.0
627	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	6,463
653	ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン	307
694	ナトリウム=アルケンスルホナート(アルケンの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。)及びナトリウム=ヒドロキシアルカンスルホ...	817
737	メチルイソブチルケトン	0.1
745	ジノテフラン	662
746	N-メチル-2-ピロリドン	11
751	2-(2-メトキシエトキシ)エタノール	4,683
合 計		61,892

出典:生活害虫防除剤協議会のアンケート調査等(環境省調べ;2024年度実績)

### 3. 推計方法

生活害虫防除剤協議会の調査等により把握された不快害虫用殺虫剤としての全国出荷量等を用いた。推計フローは図 3 に示すとおりである。推計対象年度の全国出荷量は全量が使用、排出されると仮定して全国の届出外排出量を算出した。また、不快害虫用殺虫剤の使用量は、「I 家庭用殺虫剤」と同様に都道府県別の夏日日数及び世帯数に比例するとみなし、都道府県ごとの排出量を推計した。

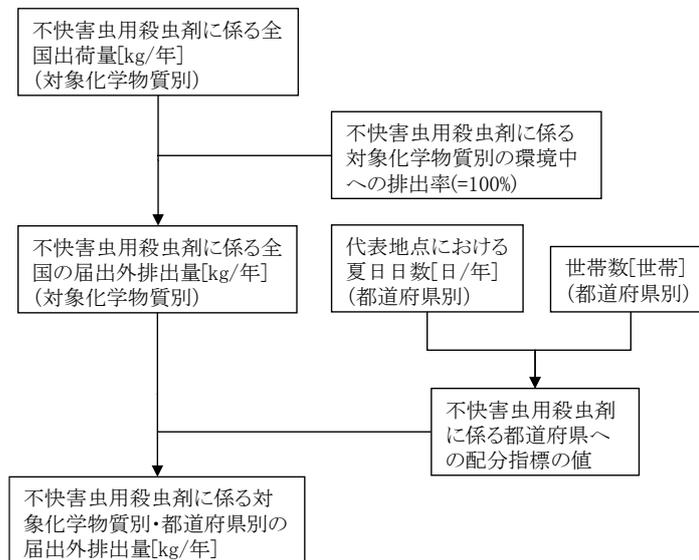


図 3 不快害虫用殺虫剤に係る排出量の推計フロー

#### 4. 推計結果

不快害虫用殺虫剤に係る排出量推計結果を表7に示す。不快害虫用殺虫剤に係る対象化学物質の排出量の合計は約62トンと推計された。フェノブカルブ(428)の出荷量が増加したこと等により排出量は2023年度(約59トン)と比較し4%の増加であった。

表7 不快害虫用殺虫剤に係る排出量推計結果(2024年度:全国)

対象化学物質		全国の届出外排出量(kg/年)				
管理番号	物質名	対象業種	非対象業種	家庭	移動体	合計
22	フィプロニル			20		20
53	エチルベンゼン			4.6		4.6
64	エトフェンプロックス			1,498		1,498
80	キシレン			4.7		4.7
134	酢酸ビニル			1.9		1.9
153	テトラメトリン			18,891		18,891
207	2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール			495		495
251	フェニトロチオン			170		170
252	フェンチオン			304		304
275	ドデシル硫酸ナトリウム			23		23
300	トルエン			7.2		7.2
350	ペルメトリン			3,977		3,977
405	ほう素化合物			2,583		2,583
407	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)			161		161
410	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)			1,289		1,289
427	カルバリル			11,747		11,747
428	フェノブカルブ			7,409		7,409
583	安息香酸ベンジル			4.4		4.4
596	シラフルオフェン			356		356
615	チアメトキサム			0.3		0.3
616	クロチアニジン			5.0		5.0
627	ジエチレングリコールモノブチルエーテル			6,463		6,463
653	ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン			307		307
694	ナトリウム=アルケンスルホナート(アルケンの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。)及びナトリウム=ヒドロキシアルカンスルホ...			817		817
737	メチルイソブチルケトン			0.1		0.1
745	ジノテフラン			662		662
746	N-メチル-2-ピロリドン			11		11
751	2-(2-メトキシエトキシ)エタノール			4,683		4,683
合計				61,892		61,892

## IV シロアリ防除剤

### 1. 届出外排出量と考えられる排出

シロアリ防除剤は建築物の床下にシロア리를駆除する目的で散布等されるものであり、使用量の全量が環境中へ排出されるものと考えられる。これらは、すべて届出外排出量に該当する。

### 2. 推計を行う対象化学物質

(公社)日本しろあり対策協会の会員企業へのアンケート調査に基づき、表 8 に示す対象化学物質について推計を行った。

表8 シロアリ防除剤の全国出荷量(2024年度)

管理番号	対象化学物質名	全国出荷量(kg/年)		
		業務用	一般消費者用	合計
20	2-アミノエタノール	0.5	0.7	1.3
22	フィプロニル	6,223		6,223
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が10から14までのもの 及びその混合物に限る。)	716		716
53	エチルベンゼン	50	55	105
64	エトフェンプロックス	1,699	33	1,731
80	キシレン	807	284	1,091
83	クメン	64	476	540
87	クロム及び三価クロム化合物	3.3		3.3
117	テブコナゾール	245		245
132	コバルト及びその化合物	0.6	0.2	0.7
153	テトラメリン		7.2	7.2
171	プロピコナゾール	1,685		1,685
207	2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	0.2	0.1	0.3
273	ノルマルドデシルアルコール	14		14
275	ドデシル硫酸ナトリウム	1.5		1.5
300	トルエン	0.1	15	15
302	ナフタレン	5.1	55	61
346	2-フェニルフェノール	1,000		1,000
350	ペルメリン	2,022	14	2,037
405	ほう素化合物	167		167
409	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸 エステルナトリウム	1.2		1.2
410	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテ ル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)	23	26	50
428	フェノブカルブ	5,065		5,065
565	アクリル酸重合体	0.1		0.1
596	シラフルオフェン	1,433	29	1,461
615	チアメキサム	881		881
616	クロチアニジン	2,339		2,339
617	アセタミプリド	100		100
618	イミダクロプリド	14,114		14,114
626	ジエタノールアミン	40	35	75
627	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	616	138	754
653	ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン	13,498		13,498
656	ペンフルフェン	607		607
664	有機スズ化合物(ビス(トリブチルスズ)=オキシド を除く。)	0.0		0.0
691	トリメチルベンゼン	2,373	12,505	14,878
722	クロルフェナピル	1,674		1,674
745	ジノテフラン	7,581	23	7,604
746	N-メチル-2-ピロリドン	2,825		2,825
751	2-(2-メトキシエトキシ)エタノール	11,586		11,586
	合計	79,459	13,697	93,156

出典：(公社)日本しろあり対策協会の会員企業へのアンケート調査等(環境省調べ;2024年度実績)



#### 4. 推計結果

シロアリ防除剤に係る排出量推計結果を表 9 に示す。シロアリ防除剤に係る対象化学物質の排出量の合計は約 93 トンと推計された。ジノテフラン、トリメチルベンゼン、イミダクロプリド等の出荷量減少により、2023 年度(約 107 トン)と比較し 13%減少した。

表 9 シロアリ防除剤に係る排出量推計結果(2024 年度:全国)(1/2)

管理 番号	対象化学物質 物質名	全国の届出外排出量(kg/年)				合計
		対象 業種	非対象 業種	家庭	移動体	
20	2-アミノエタノール		0.5	0.7		1.3
22	フィプロニル		6,223			6,223
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る。)		716			716
53	エチルベンゼン		50	55		105
64	エトフェンプロックス		1,699	33		1,731
80	キシレン		807	284		1,091
83	クメン		64	476		540
87	クロム及び三価クロム化合物		3.3			3.3
117	テブコナゾール		245			245
132	コバルト及びその化合物		0.6	0.2		0.7
153	テトラメトリン			7.2		7.2
171	プロピコナゾール		1,685			1,685
207	2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール		0.2	0.1		0.3
273	ノルマルドデシルアルコール		14			14
275	ドデシル硫酸ナトリウム		1.5			1.5
300	トルエン		0.1	14.6		15
302	ナフタレン		5.1	55		61
346	2-フェニルフェノール		1,000			1,000
350	ペルメトリン		2,022	14		2,037
405	ほう素化合物		167			167
409	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム		1.2			1.2
410	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が 9 のものに限る。)		23	26		50
428	フェノブカルブ		5,065			5,065
565	アクリル酸重合体		0.1			0.1
596	シラフルオフェン		1,433	29		1,461
615	チアメキサム		881			881
616	クロチアニジン		2,339			2,339
617	アセタミプリド		100			100
618	イミダクロプリド		14,114			14,114
626	ジエタノールアミン		40	35		75
627	ジエチレングリコールモノブチルエーテル		616	138		754

表 9 シロアリ防除剤に係る排出量推計結果(2024年度:全国)(2/2)

対象化学物質		全国の届出外排出量(kg/年)				
管理 番号	物質名	対象 業種	非対象 業種	家庭	移動体	合計
653	ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン		13,498			13,498
656	ペンフルフェン		607			607
664	有機スズ化合物(ビス(トリブチルスズ)=オキシドを除く。)		0.0			0.0
691	トリメチルベンゼン		2,373	12,505		14,878
722	クロルフェナピル		1,674			1,674
745	ジノテフラン		7,581	23		7,604
746	N-メチル-2-ピロリドン		2,825			2,825
751	2-(2-メトキシエトキシ)エタノール		11,586			11,586
合計			79,459	13,697		93,156

## V 殺虫剤(家庭用殺虫剤、防疫用殺虫剤、不快害虫用殺虫剤、シロアリ防除剤)の推計結果

殺虫剤(家庭用殺虫剤、防疫用殺虫剤、不快害虫用殺虫剤、シロアリ防除剤)を合計すると、全国の届出外排出量は約 311 トンであり、有効成分ではジクロロボス(457)、ジクロロベンゼン(181)及びテトラメトリン(153)の排出量が、補助剤では 2-(2-メトキシエトキシ)エタノール(751)及びトリメチルベンゼン(691)の排出量が多い結果となった(図 5)。

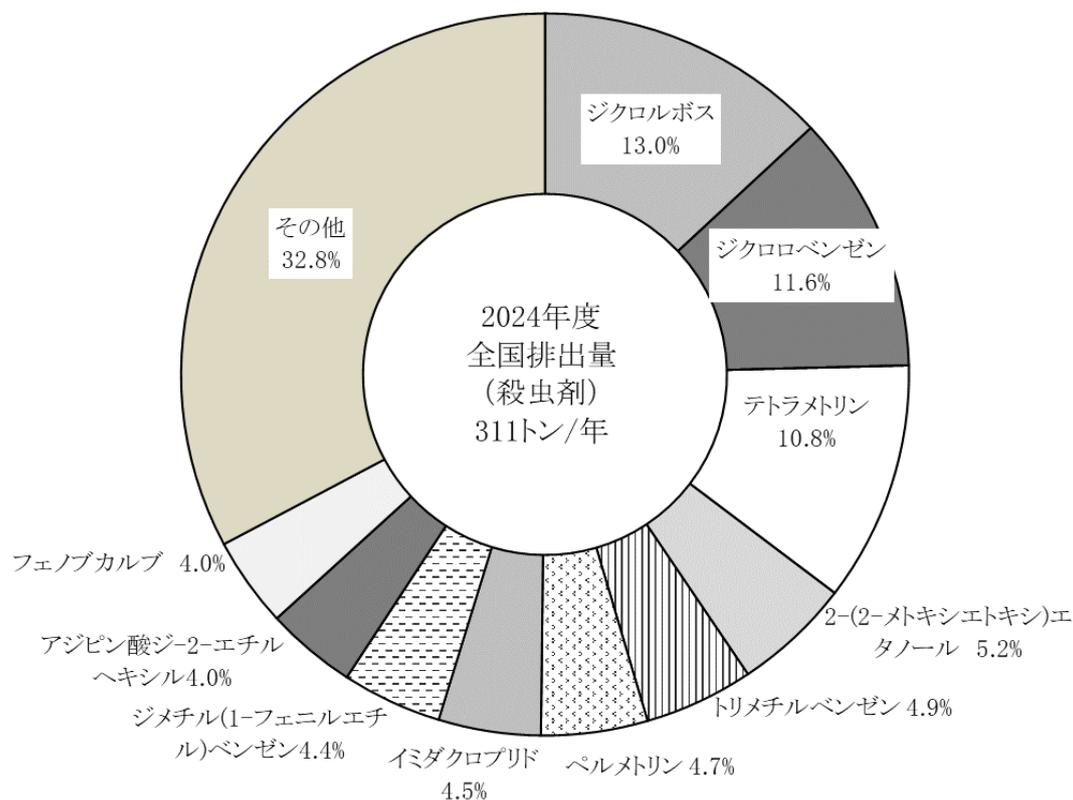


図 5 殺虫剤に係る排出量の推計結果  
(2024 年度: 全国)

表 10 殺虫剤に係る排出量推計結果(2024 年度:全国)(1/2)

対象化学物質		全国の届出外排出量(kg/年)				
管理番号	物質名	対象業種	非対象業種	家庭	移動体	合計
20	2-アミノエタノール		0.5	0.7		1.3
22	フィプロニル		6,224	20		6,243
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの 及びその混合物に限る。)		1,050			1,050
53	エチルベンゼン		5,257	61		5,318
64	エトフェンプロックス		2,441	2,678		5,119
80	キシレン		10,204	290		10,494
83	クメン		64	476		540
86	クレゾール		740	3,690		4,430
87	クロム及び三価クロム化合物		3.3			3.3
117	テブコナゾール		245			245
132	コバルト及びその化合物		0.6	0.2		0.7
134	酢酸ビニル			1.9		1.9
153	テトラメトリン		391	33,004		33,394
171	プロピコナゾール		1,685			1,685
181	ジクロロベンゼン			35,904		35,904
207	2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール		0.2	1,480		1,481
225	トリクロロホン		5,700			5,700
248	ダイアジノン		3.2			3.2
251	フェニトロチオン		9,071	170		9,240
252	フェンチオン		3,758	609		4,367
273	ノルマルドデシルアルコール		14			14
275	ドデシル硫酸ナトリウム		1.5	23		24
300	トルエン		13	22		34
302	ナフタレン		5.1	55		61
346	2-フェニルフェノール		1,000			1,000
350	ペルメトリン		4,732	9,960		14,693
405	ほう素化合物		204	2,583		2,787
407	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アル キル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及び その混合物に限る。)		842	161		1,003
408	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエー テル(アルキル基の炭素数が 8 のものに限る。)		119			119
409	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸 エステルナトリウム		1.2			1.2
410	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエー テル(アルキル基の炭素数が 9 のものに限る。)		613	1,879		2,492
427	カルバリル			11,747		11,747
428	フェノブカルブ		5,065	7,409		12,474
457	ジクロルボス		35,747	4,749		40,496
565	アクリル酸重合体		0.1			0.1
567	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル		12,504			12,504

表 10 殺虫剤に係る排出量推計結果(2024 年度:全国) (2/2)

対象化学物質		全国の届出外排出量(kg/年)				
管理番号	物質名	対象業種	非対象業種	家庭	移動体	合計
581	アルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩 (アルキル基の炭素数が 12 から 16 までのもの及びその混合物に限る。)		1.0			1.0
583	安息香酸ベンジル			4.4		4.4
596	シラフルオフエン		1,433	384.5		1,817
615	チアメトキサム		881	0.3		881
616	クロチアニジン		2,339	5.0		2,344
617	アセタミプリド		100			100
618	イミダクロプリド		14,114			14,114
626	ジエタノールアミン		40	35		75
627	ジエチレングリコールモノブチルエーテル		616	6,601		7,217
653	ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン		13,498	307		13,805
656	ペンフルフェン		607			607
664	有機スズ化合物(ビス(トリブチルスズ)=オキシドを除く。)		0.0			0.0
691	トリメチルベンゼン		2,601	12,505		15,107
694	ナトリウム=アルケンスルホナート(アルケンの炭素数が 14 から 16 までのもの及びその混合物に限る。)及びナトリウム=ヒドロキシアルカンスルホ...			817		817
722	クロルフェナピル		1,674	0.5		1,675
737	メチルイソブチルケトン			0.1		0.1
745	ジノテフラン		7,582	685		8,267
746	N-メチル-2-ピロリドン		2,825	11		2,836
751	2-(2-メトキシエトキシ)エタノール		11,586	4,686		16,273
	合計		167,594	143,015		310,609